

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
・ 学部	システム理工学部		
・ 学科(コース等)	電子情報システム学科 国際プログラム		
・ 学年(渡航開始時)	学部3年生		
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい ☒ 学部・学科まで掲載してよい ☐ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報			
・ 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型		
・ プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型		
・ 国・地域名	マレーシア・クアラルンプール		
・ 都市名	クアラルンプール		
・ 留学先大学名	Universiti Teknologi Malaysia (UTM) Malaysia Japan International Institute of Technology (MJIT)		
・ 留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☐ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☐ 半年～1年（2セメスター程度）		
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2025年3月上旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期 ☐ 修士1年前期 ☐ 1年後期 ☐ 修士1年後期 ☐ 2年前期 ☐ 修士2年前期 ☐ 2年後期 ☐ 修士2年後期 ☒ 3年前期 ☐ 博士以上 ☐ 3年後期 ☐ 4年前期 ☐ 4年後期		
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	英語力に自信がなく、少しでも日本と親和性がありそうな大学を選びたかったため。 また、学内文化交流施設(当時のGLC)に所属していた際、MJIT出身の方から話を伺うことができたことも、志願の要因になった。		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得しており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	一般プログラムでは3年前期に必修となっている科目が、国際プログラムの場合は選択科目に指定されていたため。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

留学先では、Bachelor of Software Engineering with Honours(ソフトウェア工学学科)に所属。該当学科の2年次向け科目と、いわゆる学部(MJIT)で共通の科目を履修した。学科の科目では、JavaやHTML/CSSなどのプログラミング言語や、OSに関する学習など、ソフトウェア分野の学習を行った。MJIT共通の科目では、英語とマレー語、哲学について学習した。また、多くの授業でグループワークが実施され、最終的にグループでの成果物の提出を求められた。

授業は基本的に対面で行われてたが、場合によっては現地の小学校に赴いての実習や、上級生が経験したインターンシップに関するプレゼンの公聴なども、授業の一環として行われた。また、今年度は最初の3週間ほど、全ての授業がオンラインで実施された。授業の連絡に関しては、WhatsAppを通じて行われており、授業ごとにグループが用意された。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。
(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	SECJ2154 Object Oriented Programming	単位数 (現地単位数)	4
科目概要	当科目では、オブジェクト指向プログラミングの学習としてJavaの文法を学習した。授業のレベルとしては、Java初心者に合わせた内容であったが、現地の学生は事前に別のオブジェクト指向プログラミング系言語を学習済みであったためか、進行速度はやや早いと感じた。具体的には、初歩的な文法から、クラスの継承辺りまで到達していた。また、定期的に選択式の小テストや、記述式の中間・期末テストが実施された。加えて、4人1グループを構成し、学期を通してグループワークが求められ、学期末にはアプリケーションの製作を行った。		
科目名②	SECJ2253 Requirement Engineering & Software Modeling	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	当科目では、芝浦工業大学システム理工学部生が履修するシステム工学に類似する内容を学習した。具体的には、ユースケース図の作図手法やステークホルダーの要求分析などである。また、当科目では6人程度のグループを構成し、学期を通じてシステムやアプリケーションの製作を企画する。最終的には、レポートの提出やプレゼンの実施、プロトタイプ製作を求められる。特に、顧客役である現地の学校に訪問する機会があり、その場でプレゼンや要求分析を行うことがある。加えて、中間・期末テストと、グループの企画とは別途の宿題も課される。		
科目名③	SECR2043 Operating Systems	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	当科目では、OSに関する内容を学習した。具体的には、CPUのスケジュールやメモリ管理、ファイルシステムに関するアルゴリズムを中心に学んだ。当科目では4人1グループを構成し、定期的にグループ課題が課された。また、Class CodeというWebアプリケーションを用いて、授業中に学生がクイズに解答する機会が頻繁に設けられた。クイズは、基本的に個人で解答する場合が多かったが、時にはその場でグループやペアを組んでの解答を求められた。加えて、中間・期末テストと、個人ワークが課された。		
科目名④	SECV2223 Web Programming	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	当科目では、Webアプリケーションの製作に必要な言語や知識について学習した。具体的には、HTML/CSSやJavaScriptなどのフロントエンドから、PHPやMySQLなどのバックエンドについて学んだ。当科目では、4人1グループを構成し、定期的にグループ課題が課された。学期末には、グループでWebアプリケーションを製作し、それに関するプレゼンを実施した。また、コードの穴埋め程度の記述問題が出題される中間・期末テストと、個人ワークが課された。		
科目名⑤	UHLB1112 English Communication Skills	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	当科目では、主に課題のみを通じて、基本的な英語力の向上に向けた授業が行われた。芝浦工業大学で実施されているeLearningと類似した課題や、簡単なテーマについて紹介する英作文や動画の製作が課された。当科目は、現地学生の中で、英語検定等のスコアが基準値に満たない者に向けて実施される授業であり、課される課題のレベルは非常に簡単であった。また、中間・期末テストは実施されなかった。加えて、今年度は履修人数が少なかったため、グループワークも行われなかった。		
科目名⑥	UHLM1012 Malay Language for Communication 2	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	当科目では、簡単な自己紹介が可能な程度のマレー語スキルを学習した。ライティングとスピーキングの学習に重点が置かれており、科目名は「2」となっているが、マレー語に全く触れたことのない初心者に向けた内容であった。また、当科目のみ、外部講師の先生が授業を担当していたためか、オンライン授業が一切行われなかった。加えて、授業内で期末テストが実施されたが、他の授業と異なっており、UTMの正式なフォーマットに基づいたものではなかった。		
科目名⑦	ULRS1022 Philosophy and Current Issues	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	当科目では、一般的な哲学と人生を豊かにするために必要な考え方について学習した。イスラム教の教えから由来する内容も含まれており、授業で用いられる英単語は聞きなじみのないものばかりであった。今年度は履修人数が多かったためか、現地学生と留学生でクラスが分けられた。また、7人程度のグループを構成し、テーマに沿ったプレゼンや動画の製作が課題として課された。テストに関しては、中間・期末ともに実施されなかった。		

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

MJIITには、名前にもある通り日本に興味のある学生が多く在籍している。特に、キャンパス内にJLCCという教室があり、日本の文化に関するイベントや、日本語教室が開講されている。JLCCには、日本語の外部講師として、日本人の先生や、JICAから派遣されてきた日本人ボランティアの方が在籍している。留学が始まり次第、直ぐにJLCCを訪れることを強く推奨する。

また、MJITの学生は、日本語検定の取得が卒業までに義務付けられており、日本語での簡単な日常会話が可能な学生もいる。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

所感として、私の留学は不幸に見舞われていたと思う。当初の計画では3月初頭から7月末までの留学を計画していたところ、留学先の大学側の不手際により、私の留学は4月の末からとなってしまった。加えて、留学中には、期限を9月ごろまで延長しようかと考えていたところ、身内の不幸によって、プログラム終了後の即帰国を余儀なくされてしまった。最終的な私の現地滞在期間はたったの3か月であり、授業履修型プログラムとしては異例の短さである。

滞在期間の短さも相まって、私の留学生活はいつも時間が足りなかったように思える。毎日のように授業の課題と、個人的な就職活動に追われて、十分な睡眠時間が取れないこともしばしばあった。特に時間があれば、MJITの芝浦工業大学サテライトオフィスに在籍している先生に協力して頂いて、現地の企業への訪問見学などをお願いしてみたかったと後悔している。

また、私は英語力の向上を主目的として留学していたわけではないが、正直なところ、英語力は留学前から殆ど成長していないように思える。ポジティブに捉えるのであれば、低い英語力でも困らない環境であったということであり、つまるところ英語力が低い私にとっては好都合な環境であったのかもしれない。

しかしながら、留学を通じてかけがえのない友達を作ることができたため、今回の留学自体は意味のあるものだったと納得している。また、マレーシアという国は、将来的に移住を検討しても良いほどには、個人的に過ごしやすい国であるように感じた。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

MJUITの出願自体は、そこまで大変ではなかったように思える。唯一苦労した点は、交換留学生として、どの授業を履修することが可能なかを調べることだ。私の場合は、その年度から学科の名称が変更になったらしく、シラバスなどを読む際に苦労した。そのシラバスに関しても、最新のものがweb上に公開されていなかったり、そもそもURLが機能していなかったりなど、情報の収集に苦労することが多かった。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

私は、1月にビザを申請した後、発行までに3か月以上の時間を要した。指定校で改名された学科が、マレーシアの移民管理局に登録されていなかったことが、主な遅延の原因であると考えられる。渡航期間が短くなることで、芝浦工業大学から給付される奨学金などが減額される場合があるため、その点には留意すべきである。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)

指定校の学生寮(兼ホテル)
相当人気らしく、数ヶ月前の時点で予約が埋まってしまうらしい。
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)

出願時に依頼することができた。
しかし、渡航前に私が担当の方に確認を取るまで、何も用意されていなかった様子である。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。

空港からKL sentral駅までは直通バス。
KL sentral駅からは、最寄りのDamai駅まで電車で向かった。
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。

キャンパスに隣接されていたため、徒歩で通学した。所要時間は2分程度。
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

一般向けのホテルも兼ねているため、部屋はホテルのような作りになっていた。一階には飲食店やコンビニ、コインランドリーなどの商業施設があるため、非常に便利だった。建物の周りは、軍や警察の方々が住んでいるらしく、治安も非常に良かった。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥159,000	授業料とEMGS登録料
往復航空券代(往復)	¥50,000	パテックエアマレーシアか、エアアジアxを利用
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥84,340	3月~7月分
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥30,216	EMGS登録料
計	¥323,556	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥39,000	
食費/月	¥21,000	
その他/月	¥3,000	通話料金や交通費など
計	¥63,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥90,000	
計	¥90,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

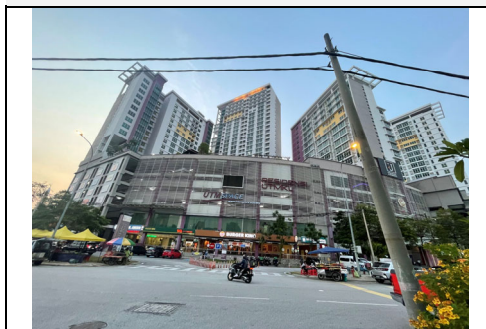
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

キャンパス内にあるMJITの校舎
教室や研究室に加えて、芝浦工業大学のサテライト
オフィスもある。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

UTM Hotel & Residence
一階部分にはコンビニや飲食店があり、ホテルはUTM
の学生以外も予約することができる。

その他、任意の写真



説明文

JLCCの教室
MJITの校舎一階部分にある。JLCCに限らず、MJIT
内の看板には日本語表記がある。

その他、任意の写真



説明文

JLCCメンバーとのピクニック
クアラルンプール内の国立公園にて開催された。私を
含めて4人の日本人が参加した。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。